

«議題1»

統合新病院整備工事の進捗状況について

1. 土壤汚染の状況及び開院時期の見直し

(1) 西棟工事エリアの調査結果

- 旧医局棟・旧外来検査棟解体に併せ、西棟工事エリアの土壤汚染調査を実施
- 基準不適合区画：36区画（西棟工事エリア）☞右図参照
- 基準不適合有害物質：ふつ素および一部の区域に砒素・鉛

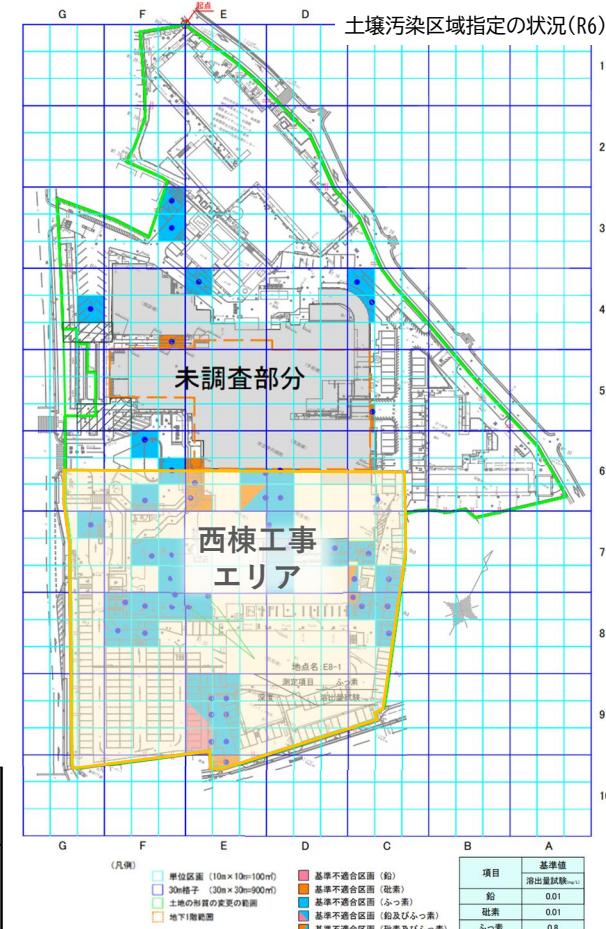
兵庫県による
区域指定

- 汚染の摂取経路がなく、健康被害が生ずる恐れがないことを確認
- 兵庫県から「形質変更時要届出区域」に指定

対策と影響

- 当初設計時の想定汚染土量と比較して約7.6倍
- 西棟工事エリアの汚染土量 約16,000m³（最大深度約8.5m）の適切な処理
- 想定以上の汚染土量が確認され、大規模な対策工事が必要
- 土壤汚染対策工事による開院時期等の見直し

(2) 開院時期等の見直し後のスケジュール



2. 対策工事などの要因による事業費への影響

1. 土壤汚染対策工事における事業費への影響

① 事業費の増嵩

- A) 土壤汚染対策工事費の増嵩
- B) 工期延長による工事費の増嵩
- C) スライド条項適用時残工事費の拡大 など

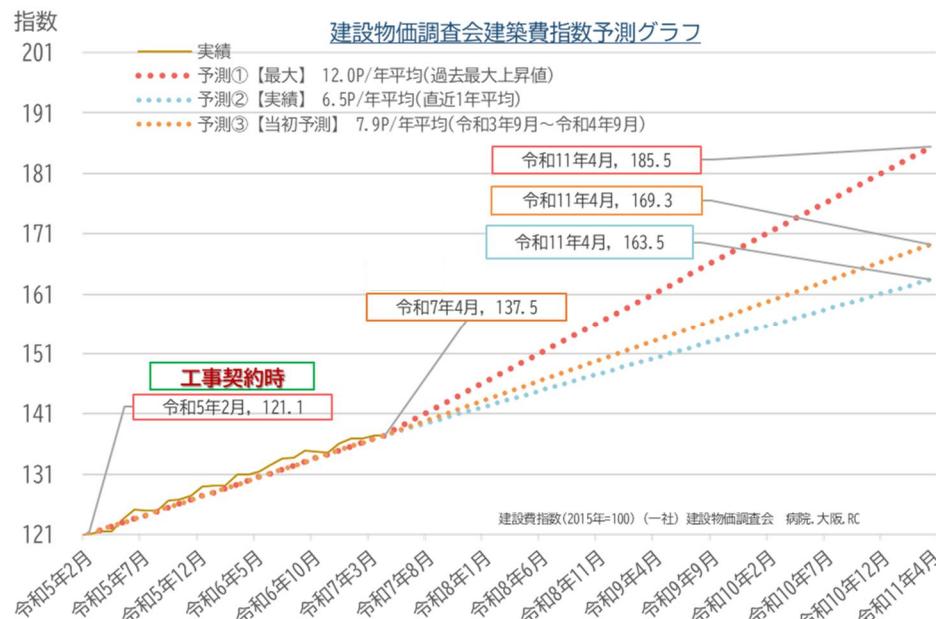
② 工期延長による財源への影響

- A) 補助金
 - 【国】病床機能再編統合支援事業 約 5.5億円 **令和8年度末まで**
 - 【県】医療機関再編統合等支援事業 約27.2億円 **令和8年度末まで**
- B) 病院事業債
 - 【国】再編ネットワーク債 **令和9年度末まで**

方向性・課題

- ▷ 対策工事による事業費増嵩を**約20億円**と想定
- ▷ 工事受注者と**事業費や工期への影響の縮減**に向けた検討・協議
- ▷ 土壤汚染対策工事については、**令和6、7年度の2カ年を想定**
- ▷ 令和6年度分は、令和7年3月議会において、**約9.9億円予算化済**
- ▷ 事業費に与える**影響の精査**、財源確保に向けた**国・県への継続的要望**

2. スライド条項適用による工事費の増嵩の見込



- ▷ 建築費指数の伸びや土壤汚染対策工事の実施に伴う工期延長による残工事費の増嵩などを要因として、スライド条項適用により、令和7年度については、**工事費が約16億円増額**

3. 今後の懸案事項

① 建設工事価格のさらなる高騰の可能性

- A) 労務コストの上昇
- B) 資材コストの上昇
- C) 設備工事費の上昇 など
- ▷ 労働者の待遇改善等による**労務単価の伸び率の増加**や世界情勢不安・インフレ等による**資材・輸送コストの継続的な高騰**などにより、建設工事価格のさらなる高騰の可能性あり

② 医療機器価格のさらなる高騰の可能性

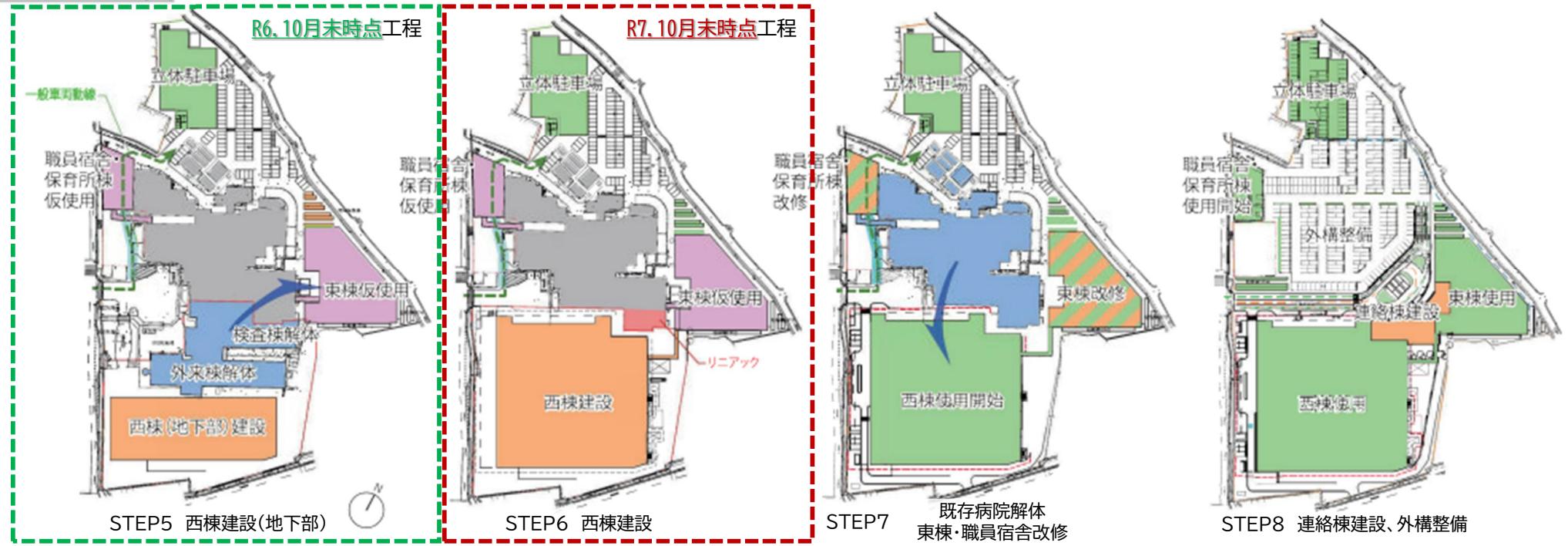
- A) 為替レートによる価格増嵩要因
- B) 為替レート以外による医療情報システムや医療機器の価格増嵩要因 など
- ▷ **ソフトウェアの高機能化、ハードウェアの価格上昇、サイバー攻撃対策に必要な機器の増加**などによる医療情報システム
- ▷ 世界的な半導体需要の拡大による**半導体材料価格の上昇、人件費高騰の機器価格への転嫁**などによる医療機器価格の高騰

方向性

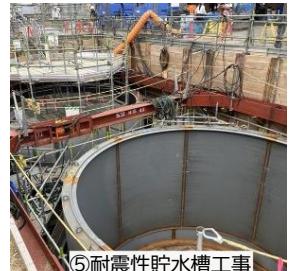
- ▷ 引き続き、社会情勢や経済動向などを注視

3. 統合新病院整備工事の進捗状況

1. ステップ図



2. 進捗状況



今後の工事内容

西棟整備工事

基礎躯体工事

免震装置設置

躯体工事